

ゆめキッズ

発行/淀川区子育て支援連絡会

TEL:06-6308-9939(淀川区役所 子育て支援室)



ぽちゃん

クリスマスにお正月と子ども達にとっても楽しいイベントが続くこの季節、体調管理に気をつけながら家族で楽しみましょう！

※ゆめキッズに記載の事業やイベントについて、諸事情により日程を変更する場合があります。事前にご確認の上ご参加ください。



子育てワンポイントアドバイス

冬の感染症予防

寒さや乾燥が厳しくなる冬場は、ウィルスの活動が活発になり、さまざまな感染症が流行します。特に、子どもや高齢者の方は重症化することがありますので注意が必要です。

感染症の種類は違っても、基本的な予防対策は同じです。感染対策の基本は手洗い・マスクの着用を含む咳エチケットです。手洗いやマスクのできない子どもは、まずは保護者が感染予防をすることが大切です。

★ 手洗いをしよう

外出先からの帰宅時や調理の前後、食事前など、こまめに手を洗いましょう。15秒以上の時間をかけて手を洗います。

汚れが残しやすい場所(指先、指の間など)は特に注意して手を洗いましょう。



手洗いミスの
発生部位

■ 頻度が高い
■ 頻度がやや高い

出典：日本感染症学会監修 病院感染防止マニュアル(2011)より抜粋

★ 咳エチケットをしよう

くしゃみや咳が出るときは、他の人にうつさないように咳エチケットを。マスクをしていないときは手で直接抑えずに、ハンカチや服で覆うようにしましょう。



家庭内の事故予防

子どもは発達するにつれて、周りのものに興味を示します。安全だと思っていた家の中にも、思わぬ危険が潜んでいます。14歳以下では、交通事故を除いて家庭内での死亡事故が最も多いと報告されています。最善の予防策は安全な環境を整えることです。暖房器具やポットなどを使う家庭も増えているのではないのでしょうか。家の中に危険が無いを確認しましょう。

★ ストープやカーペットなどの暖房器具による事故

床に置くタイプの暖房器具は、子どもの手が届かないよう安全柵などで囲みましょう。湯たんぽや電気カーペットなどは、長時間同じ場所に皮膚が触れていると低温やけどにつながる可能性があります。特に、子どもは皮膚が薄いので重症化のおそれがあり、注意が必要です。



★ 電気ケトルやポットによる事故

電気ケトルのコードを引っ張って倒して熱湯を浴びたり、高温の蒸気に触れたりしてやけどをすることがあります。電気ケトルやポットは倒れても中身がこぼれない製品を選びましょう。また、コードも含め子どもの手の届かない場所に設置しましょう。

